

國民型受信機 (其の一)

日本放送協會 結城義雄

現在制定されている國民型を次に示す。

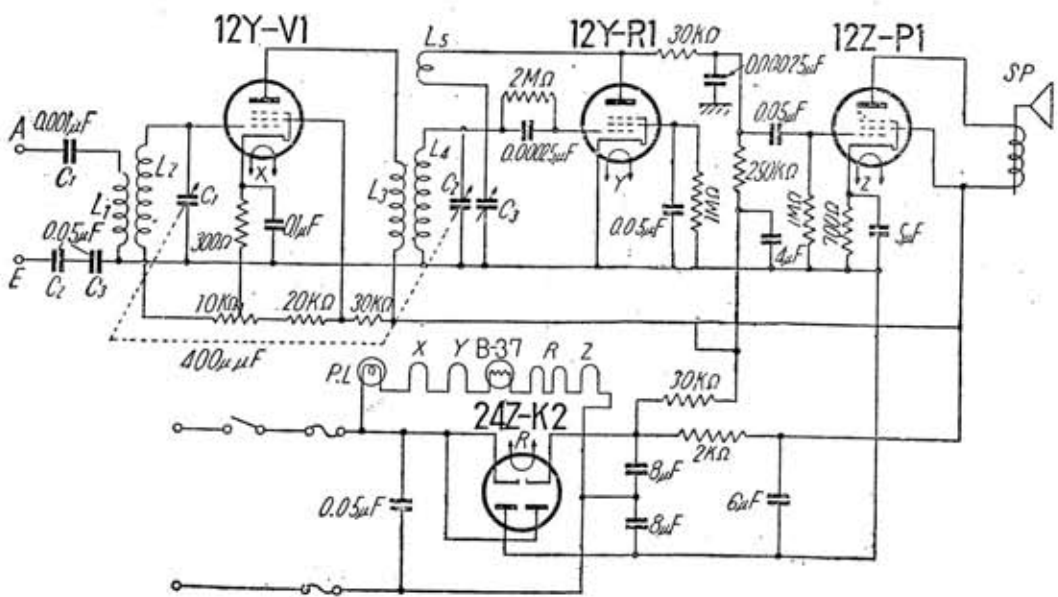
名称	使用真空管	感度階級	出力	摘要
1号	12Y-V1 12Y-R1 12Z-P1 24Z-K2	微電界	300mW以上	レス
2号	A 6D6 6C6 6Z-P1 12F	〃	〃	
	B 12Y-V1 12Y-R1 12Z-P1 12F	〃	〃	
	C 6D6 6C6 42 12F	〃	〃	
3号	12Y-V1 12Y-R1 12Z-P1 24Z-K2	〃	〃	ダイナミック, レス
4号	A 6D6 6C6 42 80	〃	1000mW以上	ダイナミック
	B 6D6 6C6 6Z-P1 12F	〃	300mW以上	ダイナミック
5号	57-A 56-A 12A 12F	弱電界	1.0mW以上	
6号	A 58-A 57-A 47-B 12F	微電界	300mW以上	
	B 58-A 57-A 3Y-P1 12F	〃	〃	

- 註記: 1. 摘要のレスはトランスレスのこと。スピーカーはダイナミック以外はマグネチックのもの。
 2. 微電界級: 微電界は 0.1mV/m, 弱電界は 0.5mV/m。
 3. 出力: 普通家庭では 50-100 ミリワットでよい。

各回路は製作会社によつて幾分異つているので以下一例を示し異つている部分だけ若干附加しておく。

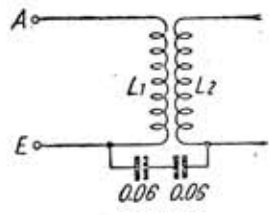
第一 一型号

[第1図] 一型号例



第1図に一型号の回路例を示す。图中アンテナ回路にある C_1, C_2, C_3 は、シャシーには交流 100V が整流管を経て直接きているので、これがないと A 又は E をアースすると 100V AC が短絡されるのでその防止用として入れて

[第2図]

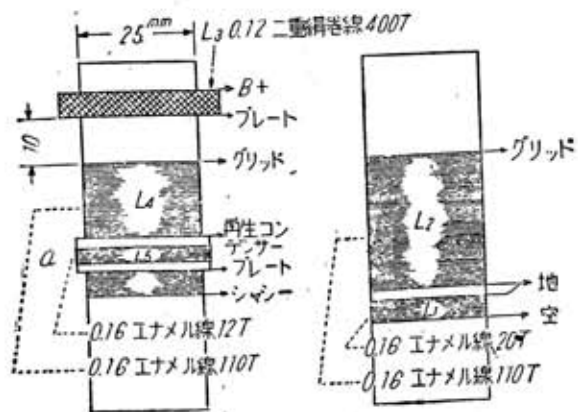


ある。三つ入っているのは一つがパンクしても差支えないように予防したためである。然しこれは第2図の方式でもよくこのようにしたのもある。

第3図は使用コイルで1号のみならず各位号の型に用いてよい。

L_4 の上に巻かれる再生コイル L_5 の置は中心 a が L_4 のアース側より $1/3$ の所にくるようによくとよい。そうすれば各周波数に於て一様の再生がおこる。

【第 3 図】



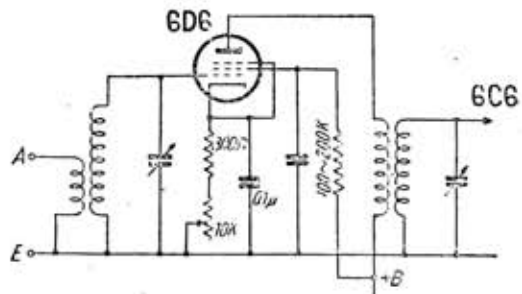
第二 二号型

第 4 図は二号 A 及 B 型受信機例である。二号 C 型は第 4 図の出力管 6Z-P1 の所を第 5 図のようにすればよい。

又高周波増巾管に遮蔽格子電圧を與えるために R_1, R_2 を用いる代りに第 6 図のように 100~200K Ω の抵抗を直列にしたものもある。

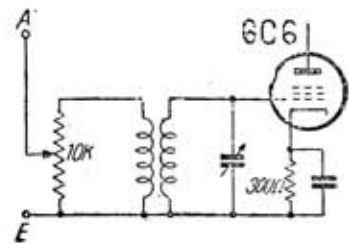
【第 4 図】 二号 A 及 B

【第 6 図】

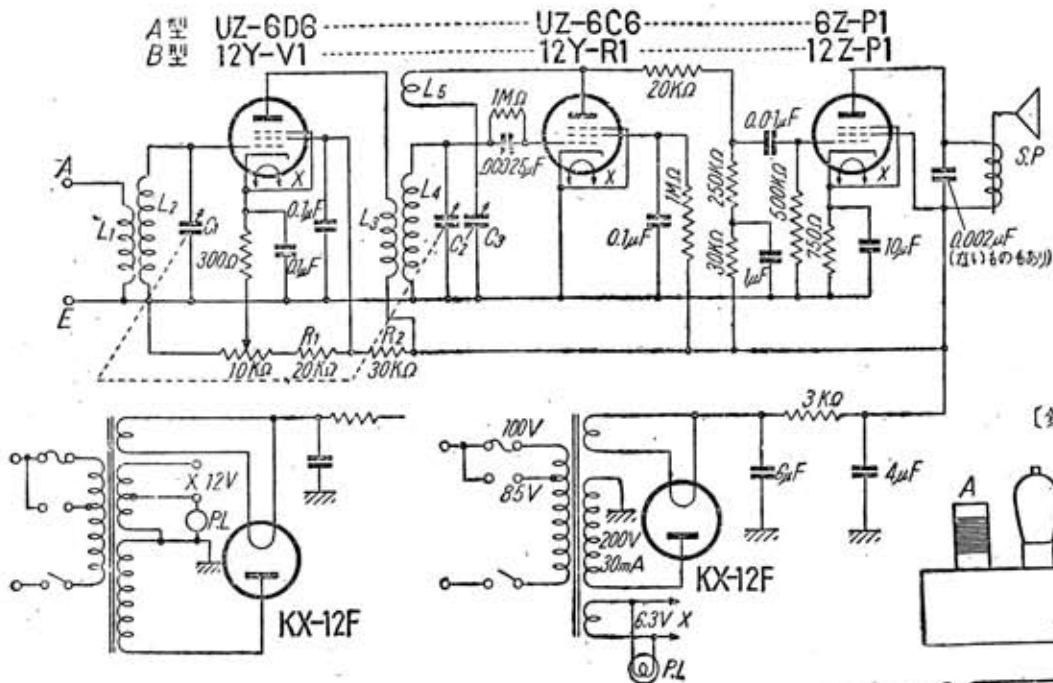


【第 7 図】

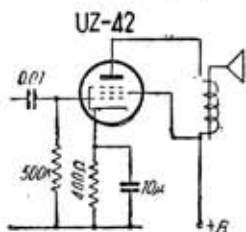
高周波検波部のコイルが相互に干渉すると発振したりして不都合なことが起るから、通常はシールドを施すのであるが、資材節約の立場から、このシールドケースを省いて、第 8 図のようにしたのがある。



【第 8 図】



【第 5 図】



6D6 が入手困難等のときに 6C6 を高周波増巾に使用するとき、歪が大きくなるようにアンテナ側にボリュームコントロールを入れることが望ましい。その要領を第 7 図に示しておく。

Hermes
斯界の最高峰
ヘルメス
 高級ラジオ
 大阪無線株式会社